

区分		事業実績		事業計画	
年度		令和5年度		令和6年度以降	
目標・実施項目・実施結果・事業内容	川上	目標	木材利用状況の把握と現状の課題を考慮した、新たな利用方法の探索。	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業事業者、森林組合、行政との話し合い</li> <li>・出口戦略（原木の利用先）を視野に入れた、木材流通の地盤形成</li> <li>・島外利用に関する協定などとの調整</li> </ul>
		実施項目	・林業従事者及び中間処理事業者へのヒアリング		
		実施結果	・奄美大島内の木材流通を把握できた。		
	川中	目標	—	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奄美産材のブランド構築</li> <li>・奄美産材の島内需要の増加</li> </ul>
		実施項目	—		
		実施結果	—		
	川下	目標	薪ボイラー導入のための試算と合意形成の実施（公共・民間）。	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用対効果を意識した薪ボイラーの導入可能施設について公共・民間の両軸で探索</li> </ul>
		実施項目	・薪ボイラーに興味のある宇検村温浴施設において薪ボイラー導入の試算を実施		
		実施結果	・投資回収年数を算出したところ、15～20年になる結果が得られた。		



各年度の課題・事業方針	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ボイラー導入に向けてどのように進めるか等、宇検村担当者との協議・調整する必要がある。</li> <li>・薪を供給できる事業者が複数存在するが、誰が、どのように、薪を供給するか、また薪の価格の設定をどのように想定するか等の課題がある。</li> <li>・官公庁などが作成した施業指針の影響や大島内での利用先がほぼ無いことから、林業自体が衰退しているため、まずは施業指針に沿いながら、出口戦略としての木質バイオマス普及を進めていく必要がある。</li> </ul>
-------------	-------	---



R6以降ゴール設定・事業方針	<p>奄美産材の有効活用成長させるために、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川上事業の整備</li> <li>・川中事業者のサプライチェーン化</li> <li>・川下産業の充実</li> </ul> <p>互いのメリットを補完し合える環境を議論し、創造していく。</p>
----------------	--